

演奏に  
役立つ

# One Point Lesson

# CLARINET

クラリネット

太田友香

おおた・ゆか



- ◆出身 茨城県立日立第一高校、昭和音楽大学
- ◆所属 東京佼成ウインドオーケストラ
- ◆趣味 食べる事、映画鑑賞
- ◆血液型 AB型
- ◆星座 蠍座
- ◆読者にひとこと 楽しむ心を忘れずに☆
- ◆手紙の送り先 BJ気付

## 個人レベルでのチューニングをきちんとしよう!!

みなさんこんにちは！ 寒さがより一層増してきて、街はクリスマス一色☆ 寒いのは苦手な私ですが、この時期は至る所で綺麗なイルミネーションを見ることができて気分がウキウキしてしまいます(^\_^) いつの間にか今年もあと僅かになりましたね。みなさんにとって、2010年はどんな1年になりましたか？ この1年の出来事を振り返りながら、残り1か月弱を大切に過ごしていきましょうね！

さて、今回のレッスンは「チューニング」や「音程」についてのお話です。複数の人数で演奏する際、個人個人がよい音程で吹けて初めて、みんなで音を合わせたり綺麗なハーモニーを作ることができます。個人のチューニングがきちんとできていることがとても重要なのです。今回は、その個人のチューニングの方法をマスターしましょう！

【図】と【譜例1】を見てください。クラリネットのどの部分を抜いたらどの音域が低くなるかを載せました。タルだけ(①)を抜いて音程を調整している人をよく見かけますが、この3箇所の中で、自分と自分の楽器に合った箇所を適切に抜いてチューニングすることで、バランスのよい音程を身につけられますよ！

では、はじめに五線中の「ド」の音でチュ

【譜例1】

① ←

② ←

③ ←

① 全音域

②

③

ーニングして、高い場合タルの部分抜き0セントに合わせましょう。これで合ったら同じく五線中の「レ・シ」も合わせます。次に五線中の「ソ」の音をチューニングしましょう。ここで音程が低い場合、タルを少し入れて代わりにジョイント(②)を抜きます(低い場合そのままでもOK)。こうして「ソ」と「ド」の音が合ったら、次に五線中の「ド」のオクターヴ下の「ド」をチューニングします。ここで低い場合は、今度はジョイント部分を入れて代わりにベル(③)を抜きます。オクターヴどうしの「ド」がどちらも合いましたか？ そうしたら最後にいろいろな音域をチェックしましょう。

私はいつも一度チューニングをした後に、【譜例2】の音で(プレスを取りながらスラーで)最終チェックをして微調整しています。ここで大事なことは、**いろいろな音域で安定して音程がとれていること**、そして、**出発点と着地点の音程が変わらないこと**です。多くの場合、くだった音が高くなってしまいう傾向がありますが、これは体の重心が上がり、息の方向も高い音仕様のままで上ずってしまうせいだと思います。お腹のおへソの下の部分に重たい石が乗っかっていて、それをしっかり支えているようなイメージを持って、お腹で息を支えて吹きましょう！

チューニングができたところで、今度はクラリネットの音程の傾向と対策について一緒に考えていきたいと思います。

【譜例2】

出発点

着地点

【譜例3】 ♩ = 50~60

pp

ff

pp

クラリネットが、ピアノやピアノリッシモのとき、またはフォルテやフォルティッシモのときに音程がどう移り変わる傾向があるか知っていますか？ 【譜例3】をチューナーをつけたまま吹いて検証してみましょう(音は好きな音でよいです!)。大抵の人は弱奏で音程がぐ〜んと上がり、強奏で音程が0付近に戻るか下がったのではないのでしょうか？ これはシングルリード楽器に見られる特徴で、この状態が合奏中に出てしまったら他の楽器と音程が合わなくなってしまいます。では、どうすればよいのか……音程が高いときには先ほどお話したお腹の支えを意識し、口や喉を「オー」とあけて口の中の容積を広くして息を流すように心がけ、音程が低い場合にはお腹の支えはそのまま、「オ」と「エ」を発音する中間の口の形にし、息を自分の目線と並行に流すようなイメージで吹いてみてください。

ここまでのお話では、チューナーにとらめっこをして自分の楽器や音程の把握に努めてきました。これで合奏前の準備が整いますね！ 合奏中の音程合わせはみなさん本当に苦労することだと思いますが、一人ひとりのチューニングが安定してできている上で、耳を使って聴き合えると、今までよりも寄り添いやすくなりますよ(^\_^) 寒い季節で音程の変動も激しく大変ですが、諦めずにこの時期に音程作り、ハーモニー作りの訓練をしていきましょうね！ ではまた、年明けにお会いしましょう♪ よいお年を☆